

# 加島美術

Kashima-Arts Co., Ltd.

## 挑戦を糧に進化する浜田浄

DATA

住所 ■ 東京都中央区京橋3-3-2

電話 ■ 03-3276-0700

開廊時間 ■ 10:00~18:00

休廊日 ■ 日曜・祝日

アクセス ■ 東京メトロ「京橋」駅より徒歩1分、

同「銀座一丁目」駅より徒歩2分

URL ■ [www.kashima-arts.co.jp](http://www.kashima-arts.co.jp)

出品ブースはN30

中世、近世の日本美術を中心に、現代美術まで広く扱っている加島美術は、かねてから浜田浄（1937年生れ）に注目してきた。2015年には練馬区立美術館で大規模な個展も開催され、近年さらに評価が高まっている作家の1人である。浜田は多摩美術大学進学のため上京したのち、戦後の現代美術界に大きな影響を与えた斎藤義重との出会いをはじめ、数々の刺激を作品に反映させながら独自の抽象表現を追求してきた。油彩画、アクリル画、版画、鉛筆によるドローイングなど表現方法を転換。塗り重ねる、刷り込む、削る、引つ掻くなど技法も模索。その変容の道程には到達点がなく、手探りでひたすら画面と向き合う行為と、時間の集積があるばかり。その無限の世界のなかで、浜田は新たな価値観を創出してきた。右のカービングシリズは彼の次なる挑戦とも言える近作。圧巻の労作を前に、格闘し続ける浜田の時間の堆積を体感しよう。



浜田浄《27-5-14》(部分) 2015年  
アクリリック、合板 91.0×91.0cm